

ひやく えん 100円ショップとは？

動画リンク : <https://youtu.be/7acJSzS0X04>

今回は「100円ショップとは？」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■ わたし 私のこと

私は、たかはしそうすけといいます。日本に住んでいる学生です。日本には、「100円ショップ」とよばれるお店があります。このお店では、たいていの物が100円で買えます。

100円は、日本のお金の中でもとても安いねだんです。おこづかいでも買えるので、子どもや学生にも人気があります。私がはじめて100円ショップに行ったのは、小学生のときです。母といっしょに家の近くのお店に行きました。おかしやノートが100円で買えると知って、おどろきました。

それから、学校の帰りに一人で行ったり、友だちと行ったりするようになりました。かぞくといっしょに週末に行くこともあります。このお店があるおかげで、ひつような物がすぐに見つかります。安いのに、よい物がたくさんあるので、とてもたすかっています。だから、私は100円ショップが大すきです。

■ えん 100円ショップのみりよく

100円ショップでは、毎日の生活で使ういろいろな物を買うことができます。たとえば、えんぴつやノート、コップやスプーン、そうじに使う道具などがあります。買い安いねだんで、しっかりした作りの物が多いのがポイントです。

お店の中は明るくて、きれいに物がならんでいます。どこに何があるか分かりやすく、見て歩くだけでも楽しいです。子どもからお年よりまで、だれでもきがるに入れるお店です。

日本には「ダイソー」「セリア」「キャンドゥ」など、いくつかの人気のある100円ショップがあります。お店の名前はちがっても、どれも安くてべんりな物を売っています。お店によっては、ここだけのデザインのしょうひんもあります。

また、100円ショップは日本中のいろいろな町にあります。駅の中や、スーパーの近くにあることも多く、ついでに立ちよることができます。外国から日本に来た人も、きがるに行けて、日本の生活を知ることができる場所です。

さいきは、しきのイベントに合わせたしょうひんもふえています。おしょうがつ、バレンタイン、ハロウィンなどのかざりやグッズも、かわいくて楽しいです。

100円ショップには、安いだけではなく、べんりで楽しいアイデアがいっぱいつまっています。日本に来たら、ぜひ一度行ってみてください。きっとおもしろい発見があります。

■ お店の中はどうなっている？

100円ショップのお店の中は、とても見やすく、歩きやすい作りになっています。しょうひんはジャンルごとにわかれていて、どこに何があるかすぐに分かります。

たとえば、ぶんぼうぐのコーナーには、ノートやえんぴつがあります。キッチンのコーナーには、おさらやスプーン、コップなどがならんでいます。ほかに、そうじや洗たくに使う道具、へやの中をかたづけるための入れものなど、いろいろなコーナーがあります。

コーナーごとに、イラストや写真でかんたんなせつめいが書いてあるので、日本語がよくわからない人でも、ほしい物を見つけやすいです。子どもでも、

「ここにあるかな？」と楽しくさがすことができます。

お店の中は明るくて、せいけつです。ライトがていねいにあてられていて、しょうひんがきれいに見えるようになっています。せまいお店でも、物のならべ方がじょうずなので、歩くときにじゃまになりません。

買い物をする人が多くても、通る道がひろめに作られているため、ぶつからずに歩けます。お年よりやベビーカーを使う人でも、安心して買い物ができます。出入り口の近くには、かごやカートがおいてあり、買いたい物を入れながら、ゆっくり見てまわれます。店内にトイレがあるお店もあり、子どもといっしょでも安心です。このように、100円ショップの店内は、だれでも買い物しやすいように、たくさんの工夫がされています。見て歩くだけでも楽しい場所です。

■ どんな物が売っているの？

100円ショップには、毎日の生活に使う、いろいろな物が売られています。お店の中をゆっくり歩いて見ていると、「こんな物もあるんだ！」とおどろくことが多いです。

たとえば、ぶんぼうぐがあります。ノート、えんぴつ、けしゴム、のり、はさみなど、学生が学校で使う物や、大人が仕事で使う物もあります。デザインもかわいくて、おしゃれな物が多いです。食えるときに使う道具もたくさんあります。おさら、コップ、はし、スプーン、フォークなどです。こわれにくく、ふだんの生活で毎日使える物ばかりです。子ども用のしよっきもあります。

そうじに使う道具もあります。たとえば、ほうき、ちりとり、たわし、スポンジ、ぞうきんなどです。おふろやトイレをきれいにするブラシもあります。かたちや色がいろいろあって、えらぶのが楽しいです。食べものや飲み物も売っています。おかし、カレー、スープ、ラーメン、おもち、パンなど、すぐに食べられる物が人気です。お茶や水、コーヒーなどの飲み物もあります。日もちがする物が多いので、旅行中に買う人もいます。日用品もよく売られています。ハンカチ、ティッシュ、せっけん、くし、つめきり、ヘアゴムなど、かばんに入れておくとべんりな物がそろっています。

子どもが楽しめるおもちゃもあります。ぬりえ、シャボン玉、パズル、ミニカーなど、かんたんで安全にあそべる物が多いです。大人が見ても、なつかしくて楽しい物もあります。さらに、けしょうひんも人気です。

くちべに、アイシャドウ、メイクブラシなどがあり、色やデザインもいろいろあります。やさしい使い心地のものもあります。

えんげいやしょくぶつもあります。小さいシャベル、スコップ、じょうろ、うえきばち、土など。かんようしょくぶつを育てたい人にもぴったりです。

ペット用品もあります。犬やねこのえさ入れ、毛をとるブラシ、おもちゃなど、小さなペットといっしょにくらす人にも人気です。

このように、100円ショップには、生活のあらゆるジャンルのひつじゅひんがそろっています。学校で使う物、家の中で使う物、楽しいあそび道具まで、いろいろな物が全部100円で手に入ります。

はじめて行く人も、見てまわるだけでワクワクします。どんな人もたのしく買えることができる場所です。

■ 日本人にも人気のあるアイテム

100円ショップには、日本でくらしている人たちにも人気のあるしょうひんがたくさんあります。安くて、使いやすく、毎日の生活にべんりな物が多いからです。

たとえば、キッチンで使う道具はとても人気です。ごはんを丸くにぎることができる「おにぎりがた」や、ゆでたまごのかたちをかえる「たまごがたケース」があります。ハートやほしのかたちにできるので、おべんとうがかわいくなります。子どももよろこびますし、朝ごはんの時間も楽しくなります。

旅行に使える道具も人気です。小さいボトルにシャンプーやボディソープを入れて、持って行くことができます。かるくて、こわれにくいので、かばんの中でも安心です。くりかえし使えるので、かんきょうにやさしいです。

へやの中をかたづけるための道具もよく売られています。たとえば、小さな入れものや、引き出しの中に入れるケースです。こまかい物をまとめてしまうことができ、へやがすっきりきれいになります。白や黒のシンプルなデザインが多くて、どんなへやにもよく合います。

ぶんぼうぐもとても人気です。ノート、シール、えんぴつ、ペンなど、かわいいデザインの物がたくさんあります。花や動物の絵が入ったシールは、子どもにも大人にも人気があります。

マスキングテープもよく買われています。いろやもようがたくさんあって、手がみやノートにかざることができます。ラッピングやプレゼントにも使えるので、使い道がいろいろあります。

このように、日本の100円ショップには、日本人の生活にぴったりの物がたくさんそろっています。ただ安いだけではなく、「こんな物があったらいいな」という気持ちを考えて作られているところが、人気のひみつです。

お店に行くたびに、新しい物やおもしろいアイデアのグッズに出会えるのも、100円ショップのたのしさのひとつです。

■ どうやって買うの？

お店に入ると、入り口の近くに「かご」があります。買いたい物を見つけたら、そのかごに入れていきます。かごは、手でもつタイプのほかに、カートにのせておすタイプもあります。たくさん買いたいときは、カゴをカートにのせておすとべんりです。

お店の中には、いろいろなコーナーがあります。ぶんぼうぐコーナー、キッチンコーナー、そうじグッズのコーナーなど、ジャンルごとに分かれています。ゆっくり歩いて、見たい物を手にとってみることができます。気に入らなかったら、もとの場所にそっともどしても大丈夫です。ただし、しょうひんをていねいにあつかうことが大切です。

買いたい物をかごに入れたら、さいごに「レジ」に行きます。レジは、お金をはらうところです。店員がいるレジと、自分でお金をはらう「セルフレジ」の2つがあります。お店によってちがいます。

お金のはらいかたは、いくつかあります。100円玉や500円玉、千円さつなどの「げんきん」を使う人が多いです。クレジットカードや、電車ののりときの「こうつうカード」を使えるお店もあります。「電子マネー」が使えるお店もふえてきています。

日本ではレジぶくろはお金がかかることが多いです。

もしレジぶくろがひつようなときは、レジで「ふくろをください」と言えば買うことができます。自分のふくろを持って行くとお金がかからず、かんきょうにもやさしいので、多くの人がマイバッグを持っています。

お金をはらったあと、レジの近くにある「テーブル」に行きます。そこでは、自分で買った物をふくろに入れます。

このように、１００円ショップでは、だれでもかんたんに楽しく買い物ができます。日本に来たばかりの人も、安心して使えるお店です。

■ ほんとうにぜんぶ１００円？

「１００円ショップ」と聞くと、「すべての物が１００円で買える」と思うかもしれません。でも、じっさいには１００円だけではない物もあります。

たとえば、２００円や３００円で売っている物もあります。すこし大きな入れものや、しっかりしたおさらなどは、１００円ではありません。でも、それでもふつうのお店より安いことが多いです。

お店の中で、ねだんをよく見ることが大切です。１００円のしょうひんには、ねだんが書いていないことが多いです。２００円や３００円のものには、小さいシールがはってあって、「２００円」や「３００円」と書いてあります。

ときどき、５００円のしょうひんもあります。たとえば、かさや、空気を入れるポンプなどです。でも、こういったしょうひんも、１００円ショップではとてもやすく買うことができます。

日本では、しょうひんに「ぜい」がつくことがあります。ぜいとは、買い物をするときに、すこしだけ多くお金をはらうしくみです。たとえば、１００円のものを買うと、さいごに１１０円はらうことになります。２００円のものなら、２２０円になります。レジでの合計が１００円だけではないので、びっくりしないように気をつけましょう。

ほとんどの人は、１００円のしょうひんを中心に買いますが、２００円や３００円のしょうひんも、ひつようなときには買います。

１００円ショップでは、「安さ」だけでなく、「ひんしつ」も大切にしています。だから、２００円でも３００円でも、それに合ったよい物がそろっています。

100円ショップという名前でも、いろいろなねだんのしょうひんがあります。でも、ねだんは分かりやすく書かれていますので、まちがえることはほとんどありません。

大切なのは、自分にとってひつような物を、よく見て、よく考えて買うことです。そうすれば、100円ショップでの買い物をもっと楽しくなります。

■私が買ってよかった物

これまでに、私が100円ショップで買った中で、とくに「買ってよかった！」と思った物をしょうかいします。

まず、とうめいな入れものです。小さいぶんぼうぐ（えんぴつ、けしゴムなど）を入れておくのにとってもべんりです。中が見えるので、何がどこにあるかすぐに分かります。おかげで、つくえの上がすっきりしました。

つぎに、くりかえし使えるストローです。プラスチックのストローですが、使いおわったら、あらって何度も使えます。ゴミが出ないので、かんきょうにもやさしいです。ジュースを飲むときに使っています。

それから、旅行用の小さいボトルもとてもべんりです。シャンプーなどを、すこしだけ入れて持ち歩くことができます。かばんの中でも場所をとらないので、旅行のときにかかせません。

ほかにも、かわいいシールセットが気に入っています。動物や花の絵がかかれたシールは、ノートやカレンダーに使ったり、友だちへの手がみにはったりしています。気もちが楽しくなるアイテムです。

そして、おはしとスプーンのセットです。小さい入れものに入っていて、ピクニックや旅行のときにとってもやくに立ちます。くりかえし使えるので、ゴミも出ません。色もかわいくて、使うのが楽しみになります。

このように、100円ショップでは、安くて、使いやすく、毎日の生活にやくだつ物が見つかります。100円とは思えないくらい、よい物に出会えることがあるので、行くたびに新しい発見があって楽しいです。

■ 100円ショップのしんか

さいきんの100円ショップは、しんかしています。前は100円のしょうひんだけでしたが、200円や300円、500円の物もふえてきました。ねだんはすこし高くなりますが、その分、しっかりした物や、おしゃれな物が多いです。

たとえば、へやをかざるインテリアグッズや、しっかりしたしゅうのうケース、ギフトにも使えるようなきれいな小物もあります。デザインもおしゃれで、えらぶのが楽しくなります。

また、SNSで人気が出そうな見た目のグッズや、シリーズでそろえたいくなるようなしょうひんもあります。10代や20代の人にも人気があり、友だちといっしょに見に行く人もふえています。

「安いから買う」のではなく、「このお店に行くと楽しいから、また行きたい！」と思う人が多くなっています。100円ショップは、買い物を楽しむ場所としても人気が出ています。

さらに、海外からの旅行者やりゅうがくせいにも使いやすいように、かんたんな英語のラベルやイラストがついている物もふえています。

このように、100円ショップは、ただ安いだけではなく、べんりで、楽しくて、デザインもすてきなしょうひんが見つかるお店に変わってきています。日本に来たら、ぜひのぞいてみてください。新しいアイデアや、すてきな物に出会えるかもしれません。

「100円ショップとは？」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



